

# 第34回定時株主総会招集ご通知

2021年3月 日

株主のみな様、いつもご支援、ご心配ありがとうございます。当社第34回第33期の定時株主総会を下記の通り開催しますのでご出席をお願いします。お手数ですがこの資料に記載された内容を参考に、同封のハガキの議決権行使書兼出欠 確認票を利用いただき 記名押印の上、総会前日までに届くようにご返送をお願いします。

出席できる方は準備の都合のため3日前までにお知らせください。コロナ対策のためマスクの着用をお願いします。

## 記

1.日時 2021年4月29日木曜日昭和の日13時00分より

2.場所 只見町大字檜戸椿61番地 たもかく 株式会社事務所

3.会議の目的事項

報告事項 2021年1月期の営業報告 会計書類の説明

承認事項 第1号議案 1.損失金処理案 全額を翌期に繰り越すものとする

報告事項 昨年の株主総会で 取締役 監査役 取締役会 監査役会を廃止 代表取締役1名としましたが、手続き費用不足のためまだ登記手続きは終わっていません。

### <営業報告書>

2021年1月期は、売上げは10,027,239円と前期の12,875,868円から284万円減少しました。この売上の中には昨年お知らせした 定期借家で貸出した物件の土地の価格での売却が含まれています。

ネット通販に力を入れ1日平均1万円、アマゾンでの売り上げが手数料梱包料を引いても月平均30万円以上に増やす目的で 店舗、倉庫のレイアウト変更を行い、出品の増加に取り組みましたが、期待した効果に至らず、効果はわずかでした。

布沢に7万坪の桑園跡地を所有し休眠化している布沢高原開発有限会社の売却に取り組んでいますが、前期は効果はありませんでした。

### <会社の事業の継続と事業環境変動のリスクについて>

山に入って山菜採りやキノコ狩りをしてもらって、遊べる山を提供する、という当社の主力事業は原発事故以降お客さんが途絶え、継続困難な状態が続いていて、回復の兆しが見えません。しかし創業時から森へ入って遊ぶ権利付で山林を売却し株式を募集していますので、事業の継続が困難になっても、株式と山林を交換して、株主やお客様の入山の権利が守られ継続して利用できるような最善の努力をしつきましたが、今期も効果には結びつきませんでした。

株式を会社帳簿価格の持ち分割合で、土地付き山林または、在庫書籍と交換したい株主との交換には可能な限り、応じて行けるようにして行きます。今後も可能な限り事業を継続していきたい、と考えていますが、維持存続を図れるだけの売り上げ確保が難しい状態が続いています。

### <当期の株式の移動状況>

今期も自社株40株の売り出しに対し新しく株主になってくれる方はありませんでした。

今期は18名の株主から293.14株最高価格55000円から最低価格20930円平均価格30091円総額8820750円の譲渡希望がありましたが、成立はありませんでした。これとは別に緊急に株式を処理したいという株主から2.4株を放棄したいという申し出がありました。株式会社が有利に自社株を取得することは原則禁止されているので、新しく株主になっていただいた方に同一株数を贈与していただく処理とさせていただきます。また、6株を山林と交換したいという申し出があり、たもかく株式会社の自社株式の取得として処理しました。相続や家族友人間の移動は8.2株2件でした。これらの移動の結果、総株主数の減少は2名でした。

創業時から当社の株式は山林の証券化の側面があり現時点では1株あたり331平米の山林との交換価値、または1株あたり174冊の古書との交換価値があります。また会社および子会社、代表者名義で現時点で所有している200ヘクタールの山林の山菜やキノコ狩りができる入山権の側面もあります。相続や税金対策という理由で株券を山林と交換したい。古書と交換したいと言う要望に対しては、登記や証明書類に関わる新たに発生する費用を負担していただければ、できる限りご希望に応じて行く方針です。

### <入会地の状況について>

2021年1月期は長浜地区の栗林の刈り払いを森林組合の補助事業で会社の負担なしで行うように依頼しました。福島県の里山整備事業として実施されました。2020年1月期は源流の森の約2haでしたが、2022年1月期は栗林に接続する源流の森の残る部分約2haの間伐刈り払いを予定しています。

### <今後の株主総会の連絡について>

今後も株主総会の連絡は文書による郵送とハガキによる議決権行使を予定していますが、万が一事業の休止をせざるを得なくなったときの連絡は メールマガジン 週刊たもかく ホームページへ掲示します。

株主のご意見はメールでお願いします。